



114  
A1914



輔  
卿

四月十三日

租稅局

大正十一年四月  
限番郵寄附

地租納期ノ儀ニ付テハ此程中既ニ更正ノ議案ヲ  
單ニ進達致シ候次第ニ有之候得共原米本邦  
耕耘ノ業ニ於ケル米穀ヲ以テ莫一ト致シ候ユハ  
十ニ八九ハ右收穫ノ節ヲ以テ納租ハ勿論其餘  
一切ノ費用ヲ支消致シ候儀ニテ他ノ季節ニ於  
テハ蠶種藍茶ヲ産出スル地方ノ外ハ其得心所  
モ僅ニ過キス仍テ循環連納ノ方法ヲ施行致  
シ候ニハ差向キ一種ノ便法ヲ設テ人民ニ都合ヲ



與フル為メ其情願ニ依リ金ニ換ルニ米ヲ以テスルノ  
聽許ヲカレ可カラス現今預ケ米ノ方去アルモ右ハ一時ノ納  
期ヲ猶豫スル迄ニ過キスニテ完納期限  
ニ至リ若相場ノ低落スルアラハ官民其可分ニ違ヒ夫カタメ皆  
完結ノ期ヲ失スルヲキク得サルニ至ラニテ懸念ス因テ本條ヲ然  
下セハ預ケ米ノ方去ハ然ル上ハ民間ニ於テ實際納方ノ便  
廢止ノ可ト思考スナルヲ以テ自然納租ノ延滞ヲ免カルハ必然ノ儀  
ト存候因テ別紙太政官へ御伺案及府縣へ布  
達案并租稅局取扱方等取束此段相伺候也

太政官へ伺案

地租代米納ノ儀ニ付伺

地租納期ノ儀ハ各地積年ノ習慣ト人民實  
際ノ情狀トノ高量スルニ非レハ容易ク變易ス可  
カラサルハ素ヨリ贅スルヲ俟タサル儀ニテ既ニ這  
般納期改正ノ儀ヲ上進ニ委曲陳述致シ候得共  
到底其本旨タル循環連納ノ法ヲ以テ漸然糶  
賣ノ弊害ヲ除キ民間安息ノ域ニ赴カシムルノ方  
法ニ在リ然リト雖モ茲ニ一種ノ便法ヲ與ヘサル  
片ハ民情或ハ其法ノ良否ヲ問ハスニテ直チニ目前  
ノ惑ヲ生スル等ノ恐ナキヲ保シ難シ故ニ地租ハ當  
今民ノ情願ニ任セ該年田租納額ノ五歩通迄ハ

從前貢納石代相場ノ方法ヲ用ヒ該年ノ相場ヲ以  
テ金ニ換ルニ米ヲ以テスルノ事ヲ許シ其納入セシ  
米額ハ當省ノ都合ヲ以テ田漕又ハ賣却スル等其  
時ニ便宜所分ノ儀御許可相成度然ルニ於テハ  
漸次金融ノ便利ヲ用キ米價平準ノ推衡ヲ得  
ルニ至リ自ラ金納ノ便ヲ知ルニ可至儀ト奉存候  
依之御布告案并地方官取扱條例御達案共  
取調相伺候條至急御裁可ノ上夫々御達有之度  
奉存候也

年月日

大藏卿

大臣殿

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

公告案

地租金ノ内田方ニ限り當分ノ慶願ニ寄リ総額ノ  
五分通從前貢納石代平均相場ノ方法ヲ用該  
年ノ相場ヲ以代米納差許候條此旨布告候事

右大臣

府縣へ御達案

今般莩 号ヲ以地租金代米納差許候ニ  
付右取扱方ノ儀ハ左ノ條例ニ照シ所分可致此  
旨相達候事

右大臣

代米納取扱條例

- 一 人民ノ情願ニヨリ金ニ換ルニ米ヲ以テスルハ是ヲ許可シ左ノ順序ヲ以テ取扱フヘキ事トス
- 一 地方官ハ毎年十月一日ヨリ十月三十日迄六十一日間管内平均相場確實取調十二月十五日限り租稅局へ届出ツヘシ
- 一 代米納願出ント欲スルモノハ遅クトモ其納期日ノ三十日以前為申出許可ヲ得ルモノニ限ルヘシ尤右以後ハ金納ニ復スルモ許サレ事トス
- 一 代米納ヲ許可セシムハ其金額及代米石高納所共仕譯書ヲ以テ納期前大藏省ニ届出ツヘシ
- 一 代米納ヲ願出ルアラハ其納ムヘキ金額ヲ前條

平均相場ニテ等出シ得ル所ノ米額ヲ納入セ

シム（後令ハ本行金額百圓ナレハ平均相場五圓ヲ以テ除之此米或拾石ヲ得ル）尤俵持

及合米差入方其他川陸運賃官民ノ區別  
枳廻ニ換量ノ方法トモ從テ從前ノ貢納規則  
ニヨルヘシ

- 一 米納ノ分納所へ輸送濟ノ上ハ其地方租稅課官員ハ貢米納方規則ノ順序ヲ以テ納人ヨリ請取而シテ后是ヲ預米金ノ方法ニ倣ヒ其米額ハ假ニ出納課へ引渡置大藏省租稅局へハ普通ノ上納證書へ金額ヲ奉行ニ立此代米若干ト記載シ上納スベシ

但納米藏敷其他ノ諸費ハ納人ヨリ請取濟出納課へ引渡候時限ヲ以官民ノ區別ヲ立

ツヘシ

右之通ニ候事

大藏省中取扱區分書

代米納租稅局取扱方

一人民ノ情願ニヨリ代米納ヲ許可スルノ分其條  
例ニヨリ地方官ヨリ上納スルアレハ租稅局ハ金  
額ヲ本行ニ立此代米若干ノ證書ヲ以奉省へ  
上納スヘシ

一奉省へ上納濟ノ證書米買ハ大藏省ノ都合ヲ  
以當分是ヲ預米トナシ或ハ田漕ニ或ハ賣却スル  
等各其主務出納局野蓄課殿  
奉省議案課殿局課ノ處分ニシテ租稅  
局ニ關係スルナシ

右之通

